

荒川 泰彦 先生 退職記念パーティのご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、東京大学教授として活躍されてこられた荒川泰彦先生は、学内の定めにより本年三月三十一日をもって東京大学を定年退職され、名誉教授の称号をお受けになりました。

先生は、昭和五十年に東京大学工学部電子工学科を卒業後、同大学院工学系研究科に進学され、光通信路固有の雑音を考慮した通信理論に関する先駆的研究に取組まれ、昭和五十五年には電気工学専門課程博士課程を修了され、同年四月より東京大学生産技術研究所に講師として着任されました。翌年には助教教授に昇任され、昭和六十三年四月先端科学技術研究センター助教教授を経て、平成五年八月に生産技術研究所教授にご昇任されました。さらに、平成十年七月からは先端科学技術研究センター教授も務められ、同二十一年四月に生産技術研究所教授に帰任され、本年三月に定年退職をむかえられました。また、平成十四年十月から、生産技術研究所ナノエレクトロニクス連携研究センター長、同十八年十月から東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構長を、更に同二十四年十月からは生産技術研究所光電子融合研究センター長も兼務され、光・電子工学分野において先導的研究者・教育者としてその職務を全うされました。

先生は、昭和五十七年、半導体中の電子を完全に閉じこめ、ゼロ次元電子を実現する「量子ドット」(量子箱)の概念を共同で提示され、その応用として量子ドットレーザを世界に先駆けて提案され、現在に至るまでの三十五年以上の間、量子ドットの物理とその光素子応用に関する研究を一貫して進められ、数多くの先駆的な業績を達成されました。量子ドットレーザの実現にむけて、量子ドットの結晶成長技術と光物性の探究を推進され、ご自身の予測を実際のデバイスとして実証されるとともに、産学連携により、その実用化に大きく貢献されました。さらに、シリコン集積回路とフォトニクスの融合技術においても量子ドットレーザが重要な光源であることを明らかにされるとともに、超小型・超低消費電力型レーザへの展開として量子ドットをナノワイヤ構造に組み込み世界最小体積の量子ドットレーザの実現にも成功されました。また、単一の量子ドットを用いた極限光源の研究も推進され、高温動作可能な単一光子源や光通信波長帯単一光子発生器の実現およびその長距離量子暗号通信への応用のほか、単一量子ドットレーザの実現などの顕著な業績を挙げられました。さらに、半導体微小共振器における共振器励起子ポラリトン効果を世界で初めて観測され、固体共振器量子電気力学の基礎を築きました。

これらの成果は、量子ドット科学の創成とその発展、ナノ光電子デバイス分野の進展に大きく貢献するものであり、国内では、日本学士院賞、紫綬褒章、内閣総理大臣賞、江崎玲於奈賞、C&C賞、藤原賞、IBM科学賞、日産科学賞、中日文化賞、国外では、デイヴィッド・サーノフ賞、ニック・ホロニャック賞、ウエルカー賞などの著名な賞を授与されるとともに、全米工学アカデミー外国人会員などに推挙されるなど、国際的に極めて高く評価されています。

また先生は、世界最先端IT国家実現重点研究開発プロジェクト、先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム、最先端研究開発支援プログラム、NEDO超低消費電力型光エレクトロニクス技術開発プロジェクト、科学技術研究補助金特別推進研究など、多くの大型研究プロジェクトのリーダーとして、ナノエレクトロニクス分野の発展を牽引するとともに、その活動をおおして多くの人材を育成されました。さらに、日本学術会議会員・第三部長や International Commission for Optics 会長など、多くの政府関係の委員、国内外の学協会 の要職を歴任されるとともに、JST-CREST「量子状態の高度な制御に基づく革新的量子技術基盤の創出」の研究総括を務められるなど、分野を超えて広く理学・工学の進展、学会や産業界の発展に多大な貢献をされていらっしゃいます。

東京大学定年退職後は、東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構・特任教授および同量子イノベーション協創センター長として研究活動を継続され、諸プロジェクトの推進等により、科学技術の進展と人材の育成に更なる貢献をされています。

このたび名誉教授になられた機会に、先生のご業績をたたえ、ゆかりの深い関係者でお祝いを申し上げます。左記の通り記念パーティを企画いたしました。皆様ご多忙とは存じますが、ご来臨いただければ幸いに存じます。また、同日同じ会場にて東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構主催の公開シンポジウム「量子ドット誕生36年」が別紙の通り開催されますので、併せてご案内申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

平成三十年九月

荒川泰彦先生退職記念パーティ実行委員会

平川一彦「代表」、平本俊郎、寒川哲臣、高橋琢二、佐藤洋一、染谷隆夫、岩本敏、

野村政宏、小林正治、ホームズマーク

各位

記

一、記念パーティ

日時 二〇十八年十一月五日(月) 午後六時より八時まで

(午後五時半より受付開始)

場所 東京ガーデンパレス 二階 高千穂

東京都文京区湯島一七五(電話 03-3813-6211)

会場へのアクセスの詳細については、次のURLをご覧ください

<http://www.hotelgp-tokyo.com/map/index.html>

会費 一万円(ご同伴者 五千円)

十月二十二日までに左記の口座にお振り込みいただければ幸いです。

三菱UFJ銀行代々木上原支店(店番 137)

口座番号 普通 0070313

口座名義 荒川先生 お祝いの会 会計 岩本 敏

ご出欠 本メール末尾記載のウェブサイトにて十月十七日までにご回報下さい。

## 二. 幹事・連絡先

幹事 東京大学生産技術研究所 岩本敏

連絡先 〒一五三・八五〇五 東京都目黒区駒場四・六・一

荒川泰彦先生退職記念パーティ実行委員会事務局

電話 ○三・五四五二・六二八一

ファックス ○三・五四五二・六二四六

電子メール [shukuga@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:shukuga@iis.u-tokyo.ac.jp)

ウェブ <http://www.nanoquine.iis.u-tokyo.ac.jp/oiwainkai/>

以上

東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構  
公開シンポジウム「量子ドット誕生36年」

日時： 2018年11月5日（月）午後2時30分～午後5時30分

会場： 東京ガーデンパレス 二階 天空  
東京都文京区湯島 1-7-5（電話 03-3813-6211）  
<http://www.hotelgp-tokyo.com/map/index.html>

主催： 東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構

プログラム：

- 14:30 開会挨拶 平川一彦  
(東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 機構長、  
生産技術研究所 教授)
- 14:35 講演 Alfred Forchel (ブルツブルグ大学 学長)
- 15:05 講演 Gérald Bastard (エコール・ノルマル・シュペリール 名誉教授)
- 15:35 講演 菅原 充(株式会社 QD レーザ 代表取締役社長)
- 16:05 休憩
- 16:15 特別講演 江崎玲於奈 (茨城県科学技術振興財団 理事長)
- 16:45 基調講演 荒川泰彦  
(東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 特任教授)
- 17:25 閉会挨拶

参加費： 無料

参加申し込み：

以下の URL からお申込みください。

<http://www.nanoquine.iis.u-tokyo.ac.jp/symposium20181105.html>

問い合わせ先：

東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 事務局  
電話 03-5452-6245  
e-mail [nquine@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:nquine@iis.u-tokyo.ac.jp)